

室蘭・海星 小笠原・松田組 8強ならず

【長野】全国高校総合体育大会(インターハイ)テニス競技(長野県松本市の信州スカイパーク・やまびこドームほか)は6日、個人の部男子ダブルスが行われ、室蘭・海星学院の小笠原陸(3年)・松田空(2年)組は1、2回戦に勝利し16強に進んだが、3回戦では兵庫県代表のペアにゲームカウント7-9で敗れ、8強入りを逃した。海星学院は男子団体戦、個人男子シングルスでも敗れたため、今大会の戦いを終えた。(野田篤志)

全国高校総体テニス男子

小笠原・松田組が準々決勝の前に敗退。今夏の海星学院の挑戦は終わった。団体戦、シングルスと3回戦の壁を破れなかった小笠原は「勝ち切れず悔しい」と素直な気持ちを吐き出した。

1回戦をゲームカウント6-3で勝利すると、2回戦も6-3。小笠原の強烈なフォアハンドや松田のスマッシュが光った。

中学時代からペアを組む先輩と後輩。練習だけでなく、寮で寝食を共にする。気心が知れた仲で「陸先輩」と慕う松田に、小笠原は「勉強中とかはちよつとウザイ時もある」と苦笑い。それでもコートでは「考えすぎるところがある」後輩を最

後までプレーで引つ張った。

2人で組む最後の試合となった3回戦。少しでも長く試合がしたいと話していた松田。「1、2回戦は助けてもらった。今度は自分がけん引しようと思った。ゲームカウント5-7の場面では、小笠原に「いきましよう!」と声を掛け気合

を入れると、7-7に追い付いた。7-8となり最後のポイントを奪われると、ペアはがつくり肩を落とし

インターハイでの戦いを終えた菊地竜平総監督は「これが全国との力の差。ただ負けたどの試合も勝てるチャンスはあった」。小笠原は「もつとやれたと思つて無念の表情を浮かべ、成長を認める松田には「来年はもつと上についてほしい」と、日本の夢を託した。

【男子ダブルス】8強入りはならなかったが、果敢なプレーを見せた海星学院の小笠原・松田組。松本市信州スカイパーク・やまびこドーム



▽男子ダブルス1回戦	小笠原 陸	松田 空	吉谷 沢	金田 口
▽同2回戦	小笠原 陸	松田 空	渡雨 山梨	駿辺 宮
▽同3回戦	高木 相	佐々木 相	9-7	小笠原 松田